

としよかん通 8月

芦屋町図書館
☎223局3677
午前10時～午後6時

※1日回、8日回、15日回、22日回、25日回、29日回は休館日です。

定例お話し会

▷出演 赤ちゃんおはなし会「たち」、ボランティア「にじの会」、「おはなしトントン」、図書館員

▷とき 3日回・6日回・14日回・20日回・28日回の午前11時から

▷ところ 図書館1階おはなしのへや

夏休み図書館工作 万華鏡をつくろう

筒をのぞくとキラキラと鏡の中で変化する不思議な世界。自分だけの万華鏡をつくって楽しみませんか。



▷とき 8月20日回・午後2時から

▷ところ 図書館1階多目的室

▷対象 小学校3年生～中学生

▷定員 15人(先着順)

▷申し込み 8月14日回までに、図書館カウンターへ

★本の森探検ツアーは8月24日回まで

図書館は本の森！探検しながら、おもしろい本を探してみよう。利用者カードを持って、涼しい図書館へLet's go！

新着図書

【一般書】

津軽双花 葉室 麟 著
ラストナイト 葉丸 岳 著
英雄の条件 本城 雅人 著
ずんずん！ 山本 一力 著
アンマーとぼくら 有川 浩 著

【児童書】

アリスのうさぎ 斉藤 洋 作
せなか町から、ずっと 斉藤 倫 作
なきむしこぞう 今村 葦子 作
おばけマンション 鈴木 翼 作
げたにばける 新美 南吉 作

凛と澄んだ歌声と情景が見える朗読に感動
芦屋町文化協会
6月24日、町民会館でふれあい文化講演「言霊の唄ひ手涼恵ライブ&語りの夕べ」が催されました。世界にたった一人の神職の唄ひ手といわれる涼恵さんの独特の唄に酔いしれ、琵琶を弾き語る松田光輝さんに引き込まれました。後半は二人によるアンデルセン原作の「絵のない絵本」の朗読と歌です。霊力を持っているかのような言葉が紡がれ、音楽の力も加わって、映像が見えるような朗読でした。会場に集った150人の皆さんの魂を揺り動かした公演でした。芦屋町文化協会では、会員の発表だけでなく、芦屋町に伝わる文化伝統を掘り起こし、伝承し、文化振興・地域文化向上を目指していきます。



大学通信教育秋期合同入学説明会
大学通信教育を行う私立大学、大学院、短期大学の教育内容の説明と学習相談を行います(参加申し込み不要、入場無料、入退場自由)。
▽とき 9月3日回・正午～午後5時
▽ところ エルガーラ8階エルガーラホール(福岡市中央区天神)
▽対象 一般、高校生
※参加者には大学通信教育の概要、開設学科一覧、取得できる教員免許・資格などを掲載した小冊子「大学通信教育ガイド」を配布します。
▽問い合わせ 私立大学通信教育協会(☎03)3818局3870)

西日本新聞 金婚夫婦表彰式
西日本新聞社では、結婚50周年・金婚を迎えられるご夫婦を祝福し、表彰します。
▽とき 10月2日回・午後1時開式
▽ところ リーガロイヤルホテル小倉(小倉北区浅野)
▽対象 昭和41年に結婚され、今年50周年を迎えられる夫婦
▽参加費 無料
▽申し込み 8月26日回までに、〒810-8721福岡市中央区天神1-4-1「西日本新聞金婚夫婦表彰式」事務局(☎092)711局5620)へ

町村名	寄付金額
益城町	50万円
西原村	50万円
南小国町	50万円
大津町	45万円
御船町	45万円
嘉島町	45万円
小国町	32万5000円
南阿蘇村	32万5000円
山都町	25万円
菊陽町	25万円
高森町	20万円
産山村	20万円
美里町	20万円
氷川町	20万円
甲佐町	20万円
15町村	500万円

況(被災率)に応じたものです。なお、寄付金額は、各町村の被災状況(被災率)に応じたものです。

熊本地震 震災義援金の寄付と町職員を派遣しました
熊本地震被災者支援募金として、町民の皆さんから7月末までにいただいた116万1606円を義援金として日本赤十字社に送金するとともに、被災された熊本県内15の町村に、芦屋町から義援金を寄付しました。一日も早い復興を祈願いたします。

また、日本財団や熊本県からの職員派遣依頼を受け、6月・7月にも競艇場職員や町職員の派遣を行い、被災地での罹災証明の発行や瓦礫の撤去などの活動にあたりました。支援活動に参加した職員は、「町の広範囲に渡って住居や道路が崩れており、現実ではないような深刻な光景が広がっている言葉が出なかった」「自分の家も倒壊しているのに、身を粉にして働くスタッフに感銘を受けた」「今後も自分のできる範囲で復興支援を行っていきたい」と話していました。



ボランティア電話相談員を募集
さまざまな悩みや不安・危機に直面しながら身近に相談相手がなく、絶望し、生きる力を失いかげようとしている人びとに、電話をとおしてともに考え、その人自身が生きていくことを支援するボランティア相談員を募集します。
▽参加条件 20歳～68歳で、10月1日(土)～平成29年2月に行われる養成講座に参加し認定を受け、相談員としてボランティアで活動ができる人
▽研修場所 福岡県立北九州勤労青少年文化センター(小倉北区井畑)
▽受講料 3万円(テキスト代と一泊研修費用を含む)
▽応募締切 9月20日回
▽問い合わせ 北九州いのちの電話(☎6522局6628)

俳句、短歌

●浜木綿俳句会
桐の花梅処尼の墓は無縫塔 野口加津美
鯉跳ねし音に振り向く薄暮かな 花田八代美
東行の墓に梅雨蝶とどまらず 小川 雪野
花みかん匂ふ昼月半ば溶け 池田 幸利
●青嶺あしや俳句会
山間の昭和の駅舎風涼し 岡田 律子
掌にのせてつれて帰ると蝸牛 田尾三千枝
十葉や路地にもありし裏おもて 仲山クニ子
父のこと満州のこと夕焼雲 廣橋いたる
●水荃短歌会
ジョギングで汗だくの子の帰りきて 冷やし麦茶を一息に飲む 宮崎佐代子
翡翠色の蚕豆食めば初夏の 生気は身内にめぐれる如し 田中勢津子
手の込みし細工のごとき時計草の 清しき花を飽かず見つめる 榎枝 千恵
無口なる父と息子は熱燗に ぼそりぼそりと会話増えたり 後藤 征子